


平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名		おしゃべりカフェ	
実施時期	平成25年6月7日（金） 11月8日（金）		
担当課	子育て支援課（大家児童センター）		
連携部署 団体			
対象	乳幼児とその保護者		
参加者数	49人 51人 合計100人		
会場	大家児童センター ホール		
1	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
目的	親子で手作りおやつを食べながら、おしゃべりを楽しむ。		
事業内容	<p>手作りおやつ「りんごのカップケーキ」「おいしいちらしずし」「フルーツ春巻」「にぎやかゼリー」の販売、作り方を紹介</p> <p>「おうちで作ってみようね」という会話が聞こえた。</p>		
成果	<p>リピーターが多い。</p> <p>この事業だけに来館する人もいる。</p>		
その他			

事業名		料理教室（クラブ）	
実施時期	H25.5/18 5/25 6/22 6/29 7/5（全5回）		
担当課	子育て支援課（大家児童センター）		
連携部署 団体	女子栄養大学サークルE C O S		
対象	小学3年～6年生		
参加者数	13人		
会場	大家児童センター 工作室		
2	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
目的	<p>手作り料理を楽しむ。</p> <p>いろいろな食材に出会い、調理の仕方を習う。</p> <p>大学生との交流を楽しむ。</p>		
事業内容	<p>登録制クラブで、毎年小学3～6年生を募集する。今回は、定員12名のところを1名増やし13名でおこなう。毎回、女子栄養大学のサークルE C O Sの学生が季節に応じたメニューを考え、子どもたちに提供してくれ、調理の指導も依頼している。主なメニュー「むすび丸いならずし」「こいのぼりロール」「夏至の太陽サラダ」「6月の花嫁ゼリー」「七夕白玉」など</p>		
成果	<p>毎回楽しく料理に取り組んでいた。</p> <p>学生との交流が楽しそうだった。</p> <p>専門の分野だけあって、子どもたちへの教え方がうまかった。</p>		
その他			

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名	スキスキクッキング	
実施時期	H25. 10/5 11/16 12/14 (全3回)	
担当課	子育て支援課 (大家児童センター)	
連携部署 団体		
対象	小学4～6年生	
参加者数	10人	
会場	大家児童センター 工作室	
3 坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
目的	高学年用の料理教室 家庭料理を中心に楽しみながら、料理を作る。	
事業内容	今年度、初めての試みの事業。地域在住の人による家庭料理中心の料理教室。定員10名(登録制) 主なメニューは、「爆弾おにぎり」「フルーツゼリー」「サラダうどん」「みたらしだんご」「煮込みハンバーグ」「ヨーグルトゼリー」など。	
成果	地域の人が講師となつての料理教室で、家庭料理中心のメニューで、高学年には、少し物足りないようだったが、簡単なおいしいものの作り方を知ったり、最近家庭でやらなくなった大根おろしやみじん切りなどを教えてもらうことができた。	
その他		

事業名	料理教室	
実施時期	H25/7/14、9/8、11/17、H26/1/26、3/16 全5回実施	
担当課	子育て支援課 (坂戸児童センター)	
連携部署 団体	坂戸児童センター	
対象	小学生	
参加者数	72名	
会場	坂戸児童センター 工作室 (料理室を兼ねる)	
4 坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
目的	自分で料理をすることにより、食べる喜びや、誰かのために作る喜びを味わう。さらに、調理を通じた食の大切さを学ぶ。	
事業内容	毎年度実施しており、25年度は年5回実施。1回につき16名までを定員とし小学生を対象にレシピに沿っての料理を体験。指導や課題のレシピは講師ボランティアの講師に依頼。(1回目フルーツゼリー、2回目グラノーラバー、3回目かぼちゃのチーズケーキ、4回目バレンタインチョコ、5回目桜スコーン)	
成果	参加者が自ら料理し試食をしたことで、料理をつくる喜びを実感することができたと思われる。	
その他		

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名	親子あそび教室（筑波大附属坂戸高校での小動物とのふれあいや野菜の収穫）	
実施時期	平成25年5月23日	
担当課	子育て支援（坂戸児童センター）	
連携部署 団体	坂戸児童センター	
対象	幼児親子	
参加者数	20組	
会場	筑波大附属坂戸高校農場	
5	坂戸市食育計画 推進計画における 目標	
目的	小動物（豚、にわとり、アヒル）とのふれあいや野菜の収穫を通して、親子で楽しみながら食に対する興味や意識を高める。	
事業内容	坂戸児童センターの「親子あそび教室」で筑波大附属坂戸高校に依頼。小動物とのふれあいや季節の野菜の様子を観察したり収穫を体験した。	
成果	普段食卓にできる食材である野菜の様子を観察、収穫したこと、また産みたての温かいニワトリの卵に触れることもでき、普段食卓にならぶ食材がどのようにつくられたり、得られるかを学ぶことができた。	
その他		

事業名	チャレンジ教室（栄養満点 さかど弁当を作りましょう！）	
実施時期	平成26年3月9日	
担当課	子育て支援課（坂戸児童センター）	
連携部署 団体	坂戸児童センター	
対象	小学生	
参加者数	7名	
会場	坂戸児童センター 工作室（料理室を兼ねる）	
6	坂戸市食育計画 推進計画における 目標	
目的	自分で料理をすることにより、食べる喜びや、誰かのために作る喜びを味わう。さらに、調理を通じた食の大切さを学ぶ。	
事業内容	職員の企画で行う事業で特に料理にはこだわらないが、今回は葉酸に注目し葉酸を多く含む食材で弁当作りを実施。小学生を対象に葉酸についてのクイズ、レシピに沿った料理を体験。	
成果	参加者が自ら料理し試食をしたことで、料理をつくる喜びを実感することができたと思われる。また、葉酸についての知識も学ぶことができた。	
その他		

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名		クッキングクラブ	
実施時期	平成26年4月～平成27年3月		
担当課	子育て支援課（千代田児童センター）		
連携部署 団体	女子栄養大学		
対象	小学生3年～6年		
参加者数	14人		
会場	千代田児童センター 工作室(調理室兼ねる)		
7	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
目的	食事の大切さを伝える。簡単な調理方法を覚えて、家庭でも作ってみようという気持ちを持たせる。食事のマナーを知る。		
事業内容	旬の食材を使って、調理の基本が学べる調理実習をする。マイ箸置きを製作し、食に関して興味をもつ。大人数で楽しく食べる		
成果	母親の手伝いを、すすんでするようになった。1度作ったものを家庭でもチャレンジし、家族に食べてもらうという機会が増えた。包丁の持ち方や手の添え方を知らなかった子ども達が、自然と台所に立つようになった。また、野菜でデザートができると知ることができた。(ゴーヤのパンナコッタやピーマンのレアチーズケーキ等)		
その他			

事業名		わくわくクラブ	
実施時期	平成25年7月20日(土)		
担当課	子育て支援課（千代田児童センター）		
連携部署 団体			
対象	小学生2年～6年		
参加者数	15人		
会場	千代田児童センター工作室(調理室兼ねる)		
8	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
目的	簡単にできる調理方法を学ぶ。大勢で食べる楽しさを知る。		
事業内容	子ども同士が協力しながら調理する献立を選び、出来上がったものを楽しくみんなで食べる。		
成果	調理は1人でひとつのものを完成させるのではなく友達と協力して作ることで、異年齢間での交流が深まった。メニューを「おやつ」として作ったが、「おやつ」は甘い物やスナック類だけでないということを知るきっかけになった。家に帰って、親に得意そうに話すもいて自信につながった。		
その他			

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

	事業名	幼児クラブ	
	実施時期	平成25年9月25日	
	担当課	子育て支援課（三芳野児童センター）	
	連携部署 団体		
	対象	幼児クラブの子どもと保護者	
	参加者数	39人	
	会場	三芳野児童センター	
9	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	簡単に出来るおやつを作ろう	
	事業内容	親子で、カッテージチーズを作り、クラッカーにトッピングして食べる。	
	成果	材料を混ぜるだけで出来て、その変化の不思議さに参加者が、驚いていた。	
	その他		

	事業名	幼児クラブ	
	実施時期	平成25年2月12日	
	担当課	子育て支援課（三芳野児童センター）	
	連携部署 団体		
	対象	幼児クラブの子どもと保護者	
	参加者数	31人	
	会場	三芳野児童センター	
10	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	手軽に出来るおやつを作ろう	
	事業内容	フレンチトースト・バナナソティ	
	成果	簡単に手作りおやつが、出来る事を知り、家に帰って作ろうと話題になっていた。	
	その他		

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

	事業名	小学生の料理教室	
	実施時期	平成25年7月13日・9月7日	
	担当課	子育て支援課（三芳野児童センター）	
	連携部署 団体		
	対象	小学生	
	参加者数	7月（13名）9月（10人）	
	会場	三芳野児童センター	
11	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	簡単なおやつを作る事により食について興味関心を持つ。	
	事業内容	7月、やきそばあんかけ・オレンジゼリー・9月、白玉フルーツポンチ	
	成果	おやつで、野菜が、たくさん食べれたり、簡単で、冷たいデザートが、作れたりと好評だった。	
	その他		

	事業名	お茶のみ友だち集まれ	
	実施時期	平成25年6月4日・10月30日	
	担当課	子育て支援課（三芳野児童センター）	
	連携部署 団体		
	対象	幼児と保護者	
	参加者数	6月（19人）10月（42人）	
	会場	三芳野児童センター	
12	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	簡単なおやつ作りを通して、食べ物の大切さを知る。	
	事業内容	6月、ひんやり冷たいミルクもち・10月、かぼちゃのプリンケーキ	
	成果	簡単で、おいしいおやつが、作れると好評だった。	
	その他		

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名		夏休み子ども暮らしの教室	
実施時期		平成25年7月22日	
担当課		子育て支援課（三芳野児童センター）	
連携部署 団体		坂戸市役所 市民文化課	
対象		小学生	
参加者数		16人	
会場		三芳野児童センター	
13	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	食について興味関心を持つ	
	事業内容	市民文化課に依頼し、講師を招いて小学生向けの調理実習を行う。	
	成果	だしの取り方が、わかり、家庭でも作ってみたという子どもからの報告があった。	
	その他		

事業名		ジュニアクッキング	
実施時期		通年（年間10回）	
担当課		子育て支援課（三芳野児童センター）	
連携部署 団体		女子栄養大学	
対象		小学生	
参加者数		年間160名	
会場		三芳野児童センター	
14	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	子ども達に旬の素材を利用して、食に興味関心を広げる	
	事業内容	女子栄養大学調理研究生の学生が身近なメニューを考え子ども達に指導する（年10回）	
	成果	お姉さん先生と関わり、楽しみながら参加していた。身近な素材が多いので家でも作っているとの声が聞かれた。	
	その他		

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名		夏野菜でパスタを作ろう	
実施時期		平成25年9月11日(水)	
担当課		坂戸保育園	
連携部署 団体			
対象		年長児	
参加者数		22人	
会場		坂戸保育園	
15	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	野菜の特徴を知る。 育てた野菜を使って調理し、みんなで食する。	
	事業内容	野菜をちぎるなどできる範囲で調理に関わる。ホットプレートを使って炒めたり混ぜたりする様子を見て調理の方法を知る。出来立てをみんなで食する。	
	成果	「玉ねぎは目に染みるね、涙が出る。」「ピーマンの匂いだ。」など実際に触れることにより野菜の特徴を知ることができた。薄い味付けにしてあるので、食材の味がよくわかったようで「ピーマンの味だ。でも食べられるよ。」など会話も弾んだ。食への関心が高まったようだ。	
	その他		

事業名		バター作り	
実施時期		平成26年1月14日(火)	
担当課		坂戸保育園	
連携部署 団体		川畑輝子先生	
対象		年長児	
参加者数		23人	
会場		坂戸保育園	
16	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	食材が変化しバターに変わっていく様子を知り、実際に作って体験する。 食材が加工されて、いろいろな食品ができていくことを知る。	
	事業内容	川畑先生(女子栄養大)をお招きし、パネルシアターを通して食品が加工される仕組みなどをわかりやすく話していただく。その後、生クリームからバターに変化していく様子を実際に体験して目で見て確認する。できたバターをクラッカーにつけて食する。	
	成果	自分で実際に体験したので変化の様子がよくわかり楽しかったようだ。加工されている食品もアイスクリームなど身近なものが多かったのでうれしい発見のようだった。「うちでもやってみる。」という子もいて食に対する関心がわいたようだ。	
	その他		

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

	事業名	お米作り	
	実施時期	5月～10月	
	担当課	城山保育園	
	連携部署 団体		
	対象	5歳児	
	参加者数	11人	
	会場	保育園内	
17	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	自分達で育て、収穫したお米でおにぎりを作って食べる。	
	事業内容	田んぼ作り、田植え、稲の生長観察、稲刈、おにぎり作り	
	成果	自分達が作ったお米ということで、脱穀作業の時なども一粒一粒を大切に扱っていた。	
	その他		

	事業名	野菜の栽培と収穫・クッキング保育（5歳児のみ）	
	実施時期	5月～収穫より随時	
	担当課	城山保育園	
	連携部署 団体		
	対象	2・3・4・5歳児	
	参加者数	44人（11人）	
	会場	保育園内	
18	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に夏野菜の苗を育てて生長を観察する。 ・年長児は、収穫した野菜を使ってクッキングをする。 	
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培（きゅうり・なす・ピーマン・おくら・スイカ・ミニトマト・キャベツ・ゴーヤ） ・年長児は、収穫した野菜を使ってクッキング（夏野菜のたこやき）をする。 	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが積極的に水やりをしたり、観察をしていた。2歳児クラスの子どもたちも自分たちのクラス前に野菜が実るのを楽しみにしていた。 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、時間外パートさんよりキャベツの苗をいただき、キャベツができるまでを観察することができた。 	

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名	野菜パーティー	
実施時期	平成25年7月24日(水)	
担当課	千代田保育園	
連携部署 団体		
対象	5歳児	
参加者数	25人	
会場	千代田保育園	
19 坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
目的	育てた野菜で愛情たっぷり特別の味を食す。 大人の手を借りずにできるだけ子どもたちだけで作り上げる。	
事業内容	食材を手で食べられる大きさにする。野菜の特性に気づく。一人ひとりホットプレートで炒める。焼きそばを入れて仕上げる。ミニトマト、ゴーヤチップスなど添える。 事前に園児がフラワーアレンジメントを製作し、テーブルに飾り、パーティー気分を盛り上げる。 わくわくの気持ちで皆でいただく。	
成果	5月から育てた野菜の集大成であり、子どもたちも充実感を得られた。 半分近くが野菜という焼きそばであったが、苦手なものもよく食べていた。おかわりも含め完食した。最初は野菜の苗の名前も知らなかったが、どのように生長するのか、理解が深められた。	
その他	最初の野菜は家庭に持ち帰り調理していただく。どのようにして食したかを尋ねると保護者の方もよく協力していただいているのがわかる。野菜を通して家庭での会話が増えたと思う。	

事業名	きゅうりとなすの酢の物をつくろう	
実施時期	平成25年7月24日	
担当課	保育課 東坂戸保育園	
連携部署 団体		
対象	年長児	
参加者数	26人	
会場	年長児保育室	
20 坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
目的	自分たちで野菜育て、その成長を楽しみにすることにより野菜を身近に感じるとともに、食することに感謝の気持ちをもつ。また、調理することにより野菜の苦手意識をなくす。	
事業内容	夏野菜のきゅうり、なすを保育士と一緒に包丁で切る。みかん缶もつかい酢の物を作る。	
成果	家庭ではあまり「酢」を使った料理はしないようで子ども達はとても喜んで食べていた。	
その他		

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名		食育のはなし	
実施時期		平成25年9月予定	
担当課		溝端保育園	
連携部署 団体		女子栄養大学食育ボランティア「にこにこクラブ」	
対象		保育園児	
参加者数		園児125名・職員21名	
会場		溝端保育園年長児室	
21	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが、食に対して興味や関心を持つ。 ・給食を楽しく意欲的に食べる 	
	事業内容	人形や歌、クイズ等で子ども達にわかり易く、楽しく食についての話をしてもらう。	
	成果	保育士以外の方が来園し話をすることで、興味や理解が深まりよく聞いていた。	
	その他		

事業名		野菜作りとクッキング	
実施時期		年間	
担当課		溝端保育園	
連携部署 団体			
対象		年長児を中心に実施	
参加者数		27名	
会場		溝端保育園園庭及び5歳児室	
22	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して野菜作りをし、世話をすることで野菜を身近に感じ、興味や食べる意欲を養う。 ・夏には収穫した野菜を使いクッキングを経験する。 	
	事業内容	年長児を中心に野菜（なす、ピーマン、トマト、じゃがいも等）を栽培し、世話や収穫、調理を通し食に対する意欲を培う。	
	成果	じゃがいも堀り、野菜作り、田植えをするなど多くの経験をし、興味が持てた。また、親子の会話も広がり子どもを通して園への理解が深まった。	
	その他		

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

	事業名	食育のはなし	
	実施時期	41,173	
	担当課	溝端保育園	
	連携部署 団体	女子栄養大学食育ボランティア「にこにこクラブ」	
	対象	保育園児	
	参加者数	園児116名・職員20名	
	会場	溝端保育園年長児室	
23	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが、食に対して興味や関心を持つ。 ・給食を楽しく意欲的に食べる 	
	事業内容	人形や歌、クイズ等で子ども達にわかり易く、楽しく食についての話をしてもらう。	
	成果	年齢の低い子どもたちは内容を理解することは難しいが、4、5歳児は食に対して知識や興味が広がった。	
	その他		

	事業名	野菜作りとクッキング	
	実施時期	年間	
	担当課	溝端保育園	
	連携部署 団体		
	対象	年長児を中心に実施	
	参加者数	30名	
	会場	溝端保育園園庭及び5歳児室	
24	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して野菜作りをし、世話をすることで野菜を身近に感じ、興味や食べる意欲を養う。 ・夏には収穫した野菜を使いクッキングを経験する。 	
	事業内容	年長児を中心に野菜（なす、ピーマン、トマト、じゃがいも等）を栽培し、世話や収穫、調理を通し食に対しての意欲を培う。	
	成果	野菜が生育する過程がわかり、収穫を通して喜びを知る。またクッキングでは調理法や包丁の扱い方を知る	
	その他		

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

	事業名	夏野菜つくりとクッキング	
	実施時期	5月～8月	
	担当課	薬師保育園	
	連携部署 団体		
	対象	5歳児	
	参加者数	18人	
	会場	薬師保育園	
25	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	夏野菜の生長と収穫を楽しむ	
	事業内容	ミニトマト・ピーマン・きゅうり・ゴーヤ・スイカの苗に水をあげをし、野菜の生長する様子を観察する。収穫した野菜を使ってピザを作りを楽しみました。	
	成果	野菜の味に興味を持ったり、嫌いだけれど保育園でできたトマトは甘いから食べるなどと熟した野菜の味を楽しむことができた。	
	その他		

	事業名	給食の食材カードを掲示	
	実施時期	年間	
	担当課	薬師保育園	
	連携部署 団体		
	対象	全園児	
	参加者数		
	会場	薬師保育園	
26	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	給食で食べた料理に使われている材料を知らせる	
	事業内容	給食の前にクラス担任が食材について説明する。	
	成果	年間通し展示することにより材料と献立がリンクし野菜・肉・調味料などの名前を覚えたり、迎えに来たときに親子で会話する姿が見え、食への興味が広がっているようである。	
	その他		

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

	事業名	バターづくり	
	実施時期	2月	
	担当課	薬師保育園	
	連携部署 団体		
	対象	4・5歳児	
	参加者数	40人	
	会場	薬師保育園	
27	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	牛のミルクが変化していくことを知る。	
	事業内容	ミルクを振ることによりバターに変わって行く様子を見る。出来上がったバターをクラッカーに乗せ味見をする。	
	成果	たくさん振ってやっとできたバターの味を堪能することができた。お家でもお母さんと作ったお子さんもいた。親子での楽しい体験をしたようであった。	
	その他		

	事業名	食べ物はどこから来るのかな？	
	実施時期	年間	
	担当課	薬師保育園	
	連携部署 団体		
	対象	5歳児	
	参加者数	18人	
	会場	薬師保育園	
28	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	野菜やくだものなどがどこにどんなふうに行っているかを知る。	
	事業内容	部屋のボードにカードをはりみんなで確認していく。	
	成果	土の中にできる野菜、実がなるもの、木になるくだものなどを知ることができた。	
	その他		

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

	事業名	おやつ試食	
	実施時期	保育参観日 1月30日	
	担当課	薬師保育園	
	連携部署 団体		
	対象	保護者	
	参加者数	84人	
	会場	薬師保育園	
29	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	簡単手作りおやつの紹介 (マカロニのきな粉和え)(米粉のパンケーキココア味)	
	事業内容	園児に人気があり、手軽に作れるおやつの紹介(レシピを配る)	
	成果	手作りおやつを試食して美味しい、作ってみますと好評であった	
	その他		

	事業名	食育推進委員会	
	実施時期	6月～3月	
	担当課	学校教育課(教育センター)	
	連携部署 団体	女子栄養大学 健康政策課 教育総務課	
	対象	坂戸市立小・中学校食育推進委員	
	参加者数	33名	
	会場	坂戸市立教育センター	
30	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	坂戸市立小・中学校における食育を推進することにより、望ましい食習慣を身につけ、心身ともに健康な児童・生徒を育成する。	
	事業内容	年間3回開催 坂戸市立小中学校の食に関する指導、保護者への啓発活動 食育プログラムの推進 食育調査について 健康政策課からのお知らせ	
	成果	推進委員で協議し、朝食の欠食率を減らすよう各校に働きかけ、学校便り、学年便り、保健便りなどの啓発活動により児童・生徒・保護者の食に対する意識を高めることができた。また、食育調査の円滑な実施についても共通理解を図ることができた。	
	その他		


平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書


事業名		食育プログラム研修会	
実施時期		8月7日(水)	
担当課		学校教育課(教育センター)	
連携部署 団体		女子栄養大学 健康政策課 教育総務課	
対象		坂戸市立小学校5・6年、 中学校1・2年担任教師及び授業担当者	
参加者数		38名	
会場		女子栄養大学 会議室・コンピュータ室等	
31	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	食育プログラムのねらい・授業における留意事項などを理解させ、児童・生徒に分かりやすく実感を伴った指導ができるように教員の指導力の向上を図る。	
	事業内容	食育プログラムの授業実施を円滑にするための伝達講習会(模擬授業も含む)	
	成果	模擬授業をまじえて研修を行ったことで、食育プログラムの授業を始めて行う教員には「ねらい」、「評価」、「詳細な指導の手立て」について理解を深めさせることができた。これまで授業を行っていた教員にも改善された点や、指導の留意点を再確認させることができた。	
	その他		

事業名		地場産野菜等の給食導入	
実施時期		平成7年度～	
担当課		教育総務課	
連携部署 団体		いるま野農業協同組合(JA)、農業振興課	
対象		市内小・中学校(児童、生徒)	
参加者数		約8000人	
会場		市内小・中学校	
32	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	学校給食を通じて、児童・生徒が望ましい食生活や食糧の生産等(地産地消)に対する子供の関心と理解を深めることを目的とする。	
	事業内容	坂戸産のお米や地元で生産された野菜・卵などの地場産物を使用した学校給食を実施する。地場産野菜の導入については、JA職員、学校栄養職員、教育委員会担当職員等で月2～3回打合せを行いながら、納品する野菜や時期を決定している。	
	成果	家庭に配布する予定献立表に地場産野菜を使用する日を掲載したり、昼の放送で児童生徒に「坂戸産の食材を使用していること」を知らせるなどの取り組みを行うことで、児童生徒の「地場産」に関する興味・関心が深まった。	
	その他	坂戸市の学校給食では、地場産野菜の利用拡大に努めているが、市内の生産は露地野菜がほとんどで、学校給食の使用日に合わせて野菜を生産することが難しく、地場産野菜の使用量の増加が困難であること。	



平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名	葉酸ブレッドの導入	
実施時期	平成20年度～	
担当課	教育総務課	
連携部署 団体	健康政策課 市内企業（㈱サンメリー）	
対象	市内小・中学校（児童、生徒）	
参加者数	約8000人	
会場	市内小・中学校	
33 坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
目的	児童・生徒及び保護者に坂戸市が進めている健康づくり政策と地産地消の理解を図ることを目的とする。	
事業内容	市内小・中学校の学校給食で「さかど葉酸ブレッド」を各学校1回ずつ導入した。 （坂戸市葉酸プロジェクトの1つとして坂戸産の小麦を原材料とし、葉酸を取り入れたパン「さかど葉酸ブレッド」が開発され、市内の企業が製造していることから、健康づくり推進室と連携を図りこれを学校給食に取り入れた。）	
成果	児童生徒に葉酸というビタミンについて知ってもらう機会となるとともに、地産地消の理解を深めることができた。	
その他	通常購入しているパンの倍近くの値段のため、年に1回のみ導入となっている。 （葉酸ブレッド） 30g 46円 40g 59円 60g 87円 （県給食パン） 30g 23.81円 40g 25.66円 60g 40.63円	

事業名	筑波大坂戸高校の生徒が栽培した農作物の学校給食への導入	
実施時期	平成22年度10月～	
担当課	教育総務課	
連携部署 団体	筑波大付属坂戸高校、健康政策課	
対象	市内小・中学校（児童、生徒）	
参加者数	約800人	
会場	市内小・中学校（坂中・南小・坂小）	
34 坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
目的	学校給食を通じて、児童・生徒が望ましい食生活や食糧の生産等（地産地消）に対する子供の関心と理解を深めることを目的とする。	
事業内容	地産地消の一環として、筑波大坂戸高校の生徒が授業で栽培した農作物を学校給食へ使用する取り組みを開始した。 （高校に隣接する坂戸中学校と南小学校の2校）	
成果	児童生徒の「地場産」に関する興味・関心が高まり、高校生との交流が深まった。また、南小学校の食育の取り組みが評価され、平成23年11月に「埼玉県食の安全大賞」を受賞したり、WHO（世界保健機関）が学校給食の視察に訪れた。	
その他	筑波大付属坂戸高校の先生に協力いただき、高校の近隣にある南小学校、坂戸中学校、坂戸小学校に野菜を運んでいただいているが、今後拡大するためには、野菜の運搬方法を検討する必要がある。	

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書


事業名	坂戸ブランド野菜の給食導入	
実施時期	平成25年度～	
担当課	教育総務課	
連携部署 団体	農業振興課 健康政策課 地元生産者	
対象	市内小学校（児童）	
参加者数	約6000人	
会場	市内小学校	
35	坂戸市食育計画 推進計画における 目標	
目的	児童及び保護者に坂戸市が推奨している坂戸ブランド野菜と地産地消の理解を図ることを目的とする。	
事業内容	市内小学校の学校給食で「さかどルーコラ」を使用したルーコラ蒸しパンを導入した。 （栄養教諭・学校栄養職員が中心となって地元ブランド野菜の献立研究を行い、農業振興課にご協力いただき地元生産者に学校給食用のルーコラを栽培してもらい、給食の献立に取り入れた。）	
成果	児童生徒に坂戸ブランド野菜や葉酸というビタミンについて知ってもらう機会となるとともに、地産地消の理解を深めることができた。	
その他	全小学校に同日にルーコラを使用するため、ルーコラを給食室に搬入する人手がなく、職員が運搬した。	




事業名	さかど市民塾開催事業（「おやじの料理」）	
実施時期	平成25年10月～平成26年3月 全6回	
担当課	社会教育課	
連携部署 団体		
対象	市民全体（男性）	
参加者数	11名	
会場	浅羽野公民館 料理実習室	
36	坂戸市食育計画 推進計画における 目標	
目的	（さかど市民塾の目的） 市民が講師になることにより「教えることは2度学ぶ」を实践し、講師が「教える生きがい」を持ちながら、併せて市民の学習機会を創設する。	
事業内容	男性を対象とした料理教室を開催し、簡単な料理で生活習慣病予防等につなげます。 調理講座例：ごはんの炊き方、手打ちそば、おせち料理、野菜料理等	
成果	（講師アンケート） 毎回受講生から学ぶことも多く、感謝しています。今後も更に努力していきたい。 （受講生アンケート） 料理の楽しさを知ることができた。家事の手伝いをするようになった。	
その他		





平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

	事業名	市民農園事業	
	実施時期	平成23年度～平成26年度	
	担当課	農業振興課	
	連携部署 団体	なし	
	対象	市内在住で農業者以外の方	
	参加者数	191人	
	会場	各市民農園（元町、八幡、片柳、浅羽、石井）	
37	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	自ら農業体験をすることで農業への理解を深めていただくとともに、地産地消の推進、安全安心な農作物への関心を高めます。	
	事業内容	市民農園用地の借上げ、市民農園6ヶ所（元町：35区画、八幡：45区画、片柳：44区画、浅羽：45区画、石井（2ヶ所）70区画、計239区画）の貸出、維持、管理の実施	
	成果	自分たちで作物等を栽培することにより、農業への理解を深めると同時に食育にもつながり、更には農作業を通じた健康づくりにもなっています。	
	その他		

	事業名	坂戸ブランド農産物	
	実施時期	4月～12月	
	担当課	農業振興課	
	連携部署 団体	なし	
	対象	農家、市民	
	参加者数	15人（試験栽培農家）	
	会場	なし	
38	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	葉酸などの栄養成分が豊富に含まれるなど、健康とおいしさをコンセプトに野菜を選定し、坂戸市のブランド野菜創出に向けた取組を行います。	
	事業内容	坂戸産農産物のブランド化の推進 平成25年度 こどもピーマン、フルティカ、紫カラシ菜の試験栽培。 その他、さかどルーコラ、すいおうなど平成24年度までに試験栽培を行った品種のフォローを行う。	
	成果	直売所や市内スーパーでの販売を行うにあたり、坂戸ブランド農産物のラベルシールやパネルを作成し坂戸ブランド野菜の魅力アピールすることで、市民への地産地消、健康への意識の高まりに寄与しました。	
	その他		

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名		坂戸ブランド野菜料理コンテスト	
39	実施時期	レシピ募集9月、コンテスト11月	
	担当課	農業振興課	
	連携部署 団体	JAいるま野	
	対象	市内在住、在勤、在学者	
	参加者数	13人	
	会場	北坂戸公民館	
坂戸市食育計画 推進計画における 目標			
目的	坂戸ブランド農産物を使用した料理のレシピを募集し、レシピを市民に広く紹介することで地産地消の推進を図ることを目的とします。		
事業内容	坂戸ブランド農産物を使った料理レシピの作成。 応募レシピの中から書類選考を行い、最終審査（試食）を行う。		
成果	レシピを市民に広く紹介することで坂戸ブランド農産物への関心を高め、地産地消の推進を図ることができました。		
その他			

事業名		北坂戸寿大学	
40	実施時期	平成25年度5～3月(14回)	
	担当課	北坂戸公民館	
	連携部署 団体		
	対象	60歳以上の男女	
	参加者数	43名	
	会場	北坂戸公民館	
坂戸市食育計画 推進計画における 目標			
目的	60歳以上男女の社会参加と仲間づくりの促進		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教養講座 ・健康体操、グラウンドゴルフ等の実技 ・バランスの良いメニューの調理実習 		
成果	生きがいのある充実した生活をおくるために教養、健康、郷土等についての学習をするともに、仲間づくりや地域社会への参加意識の高揚を図れた。また、バランスのよい健康メニューの調理実習により、健康意識も高められた。		
その他			


平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書


事業名		葉酸たっぷり旬野菜の料理教室	
実施時期		平成25年6月5日(水)	
担当課		城山公民館	
連携部署 団体		健康スポーツ推進課	
対象		一般成人	
参加者数		12名	
会場		城山公民館	
41	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	葉酸を多く含む旬野菜を使った料理を学び、健康づくりに関心を持ってもらう	
	事業内容	葉酸を多く含む旬の野菜を使ったメニューの調理実習	
	成果	葉酸のことや食についての理解が深められた。 また、参加者が館内在住者ということもあり、とても和やかな雰囲気楽しく交流できた。 メニューがとても好評でした。	
	その他		

事業名		遊びの学校(味噌作り)	
実施時期		平成25年5月～平成26年2月	
担当課		入西公民館	
連携部署 団体			
対象		小学生(4～6年生)	
参加者数		15名	
会場		入西公民館	
42	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	味噌を手作りすることにより、異なる学年・クラスの小学生相互の交流、完成した味噌を家族で食べることによる、家族間のコミュニケーション推進、及び自分達の食べる食材について考えるきっかけ作りを目的とする。	
	事業内容	5月味噌作りの説明・仕込み 2月味噌完成	
	成果	手作りの食事を作ることにより食材や食事に対して興味を持つきっかけとなった。	
	その他	小学生でも理解しやすいよう、丁寧な説明を心がけた。	



平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名		遊びの学校（ケーキ作り）	
実施時期		平成25年5月～平成26年2月	
担当課		入西公民館	
連携部署 団体			
対象		小学生（4～6年生）	
参加者数		15名	
会場		入西公民館	
			
43	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	ケーキ作りすることにより、異なる学年・クラスの小学生相互の交流、完成したケーキを家族で食べることによる、家族間のコミュニケーション推進、及び自分達の食べる食材について考えるきっかけ作りを目的とする。	
	事業内容	12月ケーキ作り	
	成果	食事を楽しく食べるきっかけとなり、家族間のコミュニケーションの推進が図られた。	
	その他	小学生でも理解しやすいよう、丁寧な説明を心がけた。	

事業名		ファミリージャガイモ作り教室	
実施時期		平成25年3月～6月 全4回	
担当課		三芳野公民館	
連携部署 団体			
対象		市内在住・在勤者	
参加者数		申込み30組102人(延べ93組213人)	
会場		三芳野公民館及び三芳野地区の畑	
			
44	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	ジャガイモを育て、農作物の尊さを考える。また、家族をはじめ共同作業による収穫の楽しさを味わい、連帯感、達成感を分かち合う。	
	事業内容	3月 開校式・うね作り・植え 4月 除草・芽の整理・土寄せ 5月 除草・土寄せ・石灰の散布 6月 収穫・試食会・閉校式	
	成果	家族で楽しく作業を行い、試食会も好評で、収穫の喜びやまた参加したいという声もいただき有意義に実施できた。	
	その他		


平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書


事業名		ふるさと料理教室	
実施時期		平成25年12月4日	
担当課		三芳野公民館	
連携部署 団体			
対象		市内在住・在勤者	
参加者数		16名	
会場		三芳野公民館	
45	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	「三芳野」をテーマに調理実習と参加者の交流を図る	
	事業内容	調理実習1回 副題：郷土のお正月料理 献立：田舎風雑煮、パインきんとん、正月用の煮物、里芋の煮物、紅白なます、カマボコ梅肉はさみ（主に地域の食材料を使用し、郷土料理の特質を保ちながら栄養バランスなどを考慮し現代風アレンジした献立）	
	成果	初対面の方々も、和気あいあいと楽しくできていた。 「次回もぜひ参加したい」という声もあった。	
	その他	塩をほとんど使用していない。地元で収穫できる野菜として里芋の煮物をした。芋の状態によって味付けを変え、白く煮たり濃いめに煮たりするとよいことや、三芳野の雑煮は餅を焼かないなどのお話もあった。飾り切りの実演もありお正月らしい華やかな彩りの料理となった。	

事業名		プレパママ教室	
実施時期		3日間コース：年3回、半日コース：年3回	
担当課		市民健康センター	
連携部署 団体		埼玉県歯科衛生士会坂戸支部	
対象		妊婦・夫、その家族	
参加者数		178人	
会場		市民健康センター	
46	坂戸市食育計画 推進計画における 目標	～	
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の健康を考える ・ 食事のバランスや間食について学び、家族の食生活を考える ・ 口の健康について考える 	
	事業内容	(1) 3日間コース 1日目 講義（父親の役割、妊娠中の身体の変化など）、沐浴実習、夫の妊婦体験 2日目 講義（妊婦と子の口腔、妊娠期・産後の身体の変化と食事）、歯科健診、歯科保健指導 3日目 講義（分娩の経過と産後の生活、授乳など）、妊婦体操等 (2) 半日コース 講義（妊娠期・産後の身体の変化と食事、父親の役割、妊娠中の身体の変化、育児のポイント）、沐浴実習、夫の妊婦体験	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の食生活を振り返ると共に、家族の食事について考えるきっかけとなった。 ・ 妊娠中の口腔ケアや赤ちゃんの歯の形成について学ぶことが出来た。 ・ 妊娠期から産後の食生活や口の健康について、知識が深まった。 	
	その他	半日コース：年3回を土曜日に開催	



平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名		離乳食講習会	
47	実施時期	年9回	
	担当課	市民健康センター	
	連携部署 団体	なし	
	対象	乳児（生後4か月～1歳）、その保護者	
	参加者数	125人	
	会場	市民健康センター	
坂戸市食育計画 推進計画における 目標	～		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・食習慣の基礎を作り、楽しく食べる子どもを育む ・離乳食の作り方や進め方について講話と試食を通して学ぶ ・口の機能について知る 		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「離乳食の進め方」 <li style="padding-left: 20px;">「育児のポイント」 <li style="padding-left: 20px;">「口の機能」 ・離乳食の試食 		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・講話、デモンストレーション、試食を通して離乳食の進め方、形態、口の手入れの仕方などについての理解が深まった。 ・母にとって離乳食作りの負担が大きく、大人の食事からの取分け食についての説明や簡単に作ることでできるお粥のデモンストレーションを行うことで離乳食作りの負担軽減を図り、実践できる。 ・講習会を通じて、仲間作りのきっかけとなった。 		
その他			

事業名		栄養バランスのよい弁当の販売（市民スポーツフェスティバルにて）	
48	実施時期	平成25年4月29日	
	担当課	市民健康センター	
	連携部署 団体	健康スポーツ推進課 坂戸市食生活改善推進員協議会	
	対象	市民全体	
	参加者数		
	会場	市民総合運動公園	
坂戸市食育計画 推進計画における 目標	～		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい食生活習慣の確立のため、食事を通して栄養バランスや減塩の大切さについて市民へ伝える。 ・食生活改善推進員の活動を市民に伝える。 		
事業内容	<p>食生活改善推進員が研修で学んだ知識を活かし、市民スポーツフェスティバルにて栄養バランスのよい弁当を作り、販売を行う。</p> <p>提供数：約150食</p>		
成果	<p>弁当の販売を通して、栄養バランスや減塩の大切さについて伝えるきっかけとなった。</p> <p>食生活改善推進員の活動を市民へ伝えることができた。</p>		
その他			


平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書


事業名		生活習慣病予防の食事教室（慢性腎臓病、糖尿病、高血圧症、脂質異常症）	
実施時期		3日間1コース：年1回、2日間1コース：年3回	
担当課		市民健康センター	
連携部署 団体		埼玉県歯科衛生士会坂戸支部	
対象		成人男女	
参加者数		182人	
会場		市民健康センター	
49	坂戸市食育計画 推進計画における 目標	～	
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に対して生活習慣病の知識の普及啓発に努め、その発症の予防を図る。 ・自らの食生活を見直し、望ましい食習慣への気づきを促すため必要な情報を提供する。 	
	事業内容	1日目 保健・栄養講話 2日目 調理実習、歯科指導・口腔ケア	
	成果	疾病の特徴と予防のための生活習慣について知識の普及を図ることができた。 自らの食生活を見直すきっかけとなり、気づきを促すことができた。	
	その他		

事業名		食改の伝達クッキング	
実施時期		7月29日、1月22日、2月4日、2月21日	
担当課		市民健康センター	
連携部署 団体		坂戸市食生活改善推進員協議会	
対象		成人男女・小学生	
参加者数		24人、12人、23人、18人	
会場		市民健康センター 勝呂公民館、～市内健康センター	
50	坂戸市食育計画 推進計画における 目標	～	
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい食生活習慣の確立 ・生活習慣病予防 ・地区組織における自主活動の推進 	
	事業内容	食生活改善推進員による地域での料理講習会。	
	成果	調理実習を通して、バランスのよい食事について伝えるきっかけとなった。 食生活改善推進員の活動を市民へ伝えることができた。	
	その他		





平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

	事業名 食と健康のプランニングセミナー（体質を知って生活習慣病予防と認知症予防講習会）	
実施時期 (H25) 7/1、7/3、7/6、7/12、7/13、7/19、8/31、9/4、9/6、12/7、12/11、12/14、(H26) 2/14、2/15、2/19		
担当課 健康スポーツ推進課		
連携部署団体 市民健康センター、女子栄養大学		
対象 成人一般		
参加者数 300名		
会場 女子栄養大学、市内公民館、市民健康センター		
51	坂戸市食育計画推進計画における目標	
目的	葉酸、肥満、高血圧関連の4つの遺伝子検査、体質に応じた個別の栄養指導を通じて、市民の食生活等の生活習慣の改善を促し、生活習慣病及び認知症予防を図る	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講話「体質を知って生活習慣病予防と認知症予防」 ・ 遺伝子検査（葉酸・血圧・肥満）、血液検査に基づく個別栄養指導 約半年後に、2回目の採血・個別栄養指導を実施 ・ 慢性腎臓病予防講演会 ・ 慢性腎臓病予防食事教室 	
成果	血液・食事調査結果の前後比較からは、各遺伝子検査の結果をふまえた個別食事指導により、血清葉酸値上昇やホモステイン・食塩摂取量の減少、BMIが適正範囲内である人の増加など、関連要素に良好な傾向が見られた。また、運動・食事教室に加え生活の記録シートを用いることにより、「意識が高まった、継続していきたい」などの感想もあがった。	
その他		


	事業名 牛とのふれあい食育特別授業「わくわくモーモースクール」	
実施時期 平成25年11月1日		
担当課 健康スポーツ推進課		
連携部署団体 十代出小学校、亀出牧場(亀出氏)、埼玉酪農、城西大学学生		
対象 小学生と保護者		
参加者数 380名（小学生291名、保護者151名）		
会場 千代田小学校		
52	坂戸市食育計画推進計画における目標	
目的	食育の一環として、生産者の話や牛とのふれあいなどを通し、いのちの大切さや食べ物のつながりを知り、食を通じて児童の心とからだを育むことを目的に実施する。	
事業内容	牧場主による牧場の仕事やいのちの大切さについての講話、牛とのふれあいや哺乳体験を行う。	
成果	授業参観日に実施したことで、多くの保護者が参加した。保護者アンケートからは、「子ども達が熱心に命の大切さについて話を聞く姿が印象的だった」、「親も勉強になった。家でも食事をしながら子どもと話したい。」などの声が聞かれた。また、ほぼ全員の保護者が、授業を通して命の大切さ・生産者への感謝の気持ちを育むことができたと回答した。	
その他		


平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名		健康づくり地域寺子屋事業	
実施時期		平成25年4月～平成26年3月	
担当課		健康スポーツ推進課	
連携部署 団体		自治会、市内3大学	
対象		市民（自治会単位）	
参加者数		延べ518名	
会場		3地区（中富町1～4区、溝端町南町、公団東坂戸団地）	
			
53	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	身近な場所である集会所などを拠点に健康づくりの学びと実践の場の整備を進め、市民自ら気軽に健康づくりを進められるような環境整備を進める。地域で交流を図りつつ、自分の食事ははじめとする生活習慣を見直すきっかけづくり、情報を得る場とする。	
	事業内容	地域の自治会が主体となって、地域の集会所などを拠点に健康づくりの実践活動を行う。市内3大学の先生方にご協力いただき、自治会の希望に応じた「食」「運動」「くらし」などのテーマで講座等を行う。	
	成果	食に関する講座の事後アンケートからは、「栄養バランスのとれた食事の大切さがよくわかった」「意識して生活していきたい」という感想が挙がり、学んだことを誰かに伝えたいとした人が9割を超えた。専門的な講義や演習を通して、自身の食事を考える機会となった。	
	その他		

事業名		健康づくり応援店認定事業	
実施時期		平成25年4月～平成26年3月	
担当課		健康スポーツ推進課	
連携部署 団体		市内飲食店、坂戸市商工会、市内3大学	
対象		市民全体	
参加者数		認定店舗数 46店舗 平成26年3月現在	
会場			
			
54	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	食を通じて健康づくりを応援する店舗を普及促進することにより、市民の健康を地域全体で支える環境整備を図り、もって健康なまちづくりの推進を図ることを目的とする。	
	事業内容	葉酸たっぷり、坂戸産野菜を使用しているなど健康に配慮したメニューや食品を提供する店舗を「健康づくり応援店」として認定する。認定店舗については、認定証を発行し、のぼり旗を使ってPRを行う。認定の際には、健康に配慮したメニューについての相談を行う。また、女子栄養大学と連携し、健康づくりに配慮し工夫を凝らした新メニューを開発する。	
	成果	健康づくり応援店からは、「葉酸や健康についてお客様とのコミュニケーションをとる機会となっている」、「葉酸フェアについては、店舗のことを知るきっかけとなれば良い。葉酸の認知度を上げていきたい。」との声もあがった。メニュー開発に関わった店舗からは、「健康に配慮したメニューを増やしていきたい」などと意欲的な姿勢も見られた。	
その他			

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

事業名	葉酸普及イベント「みんなで巻き巻き！ジャンボさかど葉酸のり巻き」	
実施時期	平成25年11月10日	
担当課	健康スポーツ推進課	
連携部署 団体	健康づくり応援店、坂戸市商工会、地元農家、 元気にし隊、市内大学生	
対象	市内小学生	
参加者数	107名	
会場	勝呂公民館 大体育室	
55 坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
目的	葉酸の普及及び、坂戸産の食材を活用した食づくりの体験を通じて、子どもたちの心とからだを育む。また、日本の伝統的な食文化を伝える。	
事業内容	葉酸を多く含む食材を使ったジャンボ「葉酸のり巻き」を小学生が巻き上げる。食材は主に坂戸産のものを使用し、健康づくり応援店による技術協力のもと実施する。	
成果	実施後アンケートから、「親子一緒に家でも作ってみたい」「みんなで作る楽しさと達成感を感じられたようで良かった」などの感想があがった。食材の生産者に関するチラシなども配布し、地産地消の知識を深めた。食事作りの楽しみや、食への興味・意欲向上につながった。	
その他		

事業名	キッズ 食育ッキング「プロに学ぼう ぼくもわたしもピザ職人」	
実施時期	平成25年8月28日	
担当課	健康スポーツ推進課	
連携部署 団体	健康づくり応援店、元気にし隊	
対象	市民	
参加者数	23名	
会場	市民健康センター	
56 坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
目的	子どもに対する食育として、食への興味関心を深め、バランスの良い食事の基本を学ぶことを目的とする。また、地元産食材の活用による地産地消の推進や、健康づくり応援店との協働による店舗の利用促進を図る。	
事業内容	元気にし隊による企画のもと、健康づくり応援店「Natural・木」の店長を講師に招き、講義及び調理を実施した。子ども達が楽しみながら食事作りができるよう、人気メニューの一つであるピザ作りをテーマに取り上げた。食材には坂戸産の野菜とブランド農産物化を推進している「さかどルーコラ」を献立の中に組み込んだ。	
成果	事後アンケートからは、参加者の全員が「家でも作ってみたい」と答え、「ピザ作りはとても楽しかった」との感想が多かった。講師による食べ物・食事を作ること、それに関わる人への感謝の気持ちを持つことの大切さなどについての話を、子ども達は真剣に聞いており、広く食への理解を深められたようだった。	
その他		

平成25年度「食育の推進に関わる取組」実施報告書

	事業名	教師や友達と一緒にケーキを食べて祝う誕生会	
	実施時期	平成26年12月16日	
	担当課	末広幼稚園	
	連携部署 団体	P T A	
	対象	幼稚園児	
	参加者数	183名	
	会場	末広幼稚園	
57	坂戸市食育計画 推進計画における 目標		
	目的	・教師や友達と食べることの楽しさを味わう・誕生児を祝う気持ちを持つ	
	事業内容	・遊戯室で誕生会を行う・各クラスに戻りケーキを食べたりジュースを飲んだりする	
	成果	みんなと食べるとおいしいという声が聞かれた。宝物のように大切に一口ずつ食べていた。	
	その他		